



## A先生の新語コーナー



### Kòng wēn jiǎn pái “控温减排”

「控温减排」。温室効果ガスの排出抑制・削減。中国政府は昨年11月25日、単位国内総生産(GDP)当たりの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を2020年までに05年比で40~45%削減するとの目標を打ち出した。また、一次エネルギー消費に占める非化石エネルギーの割合を15%前後に到達させるとしている。中国がCO<sub>2</sub>削減の数値目標を示したのは初めて。だが、「国情」に基づく自主的な行動」と述べており、国際的な削減義務を負わないとの中国の立場に変わりはない。(A)

# 謹賀新年

あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて、“年が改まる”と意識することは、絶え間なくいろいろな事の起こる世の中において、気持ちの上で一区切りをつけて未来について考えるための古くからの知恵だろうと思います。そういう時間はやはり貴重なものだと思います。

日中学院は、現在様々な問題をかかえています。まず講師の世代交代の問題があります。日中学院の誇りとも言える優れた先生方の後を引き継ぐということは、とても難しい課題に思えます。しかし年末に行われたアンケートの結果などを見ると、経験の長い先生方の奮起、新しく来られた先生方の努力のおかげで、これまでにかわらぬ学習の場を提供していくことができているように思います。

日中学院にはまた財政的な問題もあります。昨年度は赤字予算で臨みましたが、ほぼ予算通りの決算になりそうです。支出を切りつめた緊縮予算を組んだ結果なので、喜べる内容ではありません。しかし、経済不況が続いているなかで、一昨年のような大きな赤字を出さずに済んだ点では、堅実であったとも言えそうです。

日中学院には明るい話題もあります。受講生はしっかり勉強しています。今年も本科の2名の学生が、東京外国語大学東アジア課程に編入します。4年前に専門学校卒業生に対して編入試験の門戸が開かれて以来、日中学院から外大への合格者は6名になりました。その他の大学の中文系学科に編入した学生も多く、ほとんどの場合、編入した学生は中国語に習熟していて真剣に勉強に取り組む学生と



いう評価を受けています。昨年秋に行われた文化祭もこれまでの語学劇の水準を落とすことなく立派に行われました。別科の受講生も頑張っています。10月初めに第4回の朗読大会が開かれ、多くの参加者が非常に高いレベルの朗読を披露しました。

日中学院をとりまく状況を考えてみますと、日本の新しい政権の首相が「東アジア共同体」ということを提議したことが想い起こされます。日本のリーダーが、様々な分野で進んでいる日本と中国との交流を発展的にとらえていこうという姿勢を示したことは、意義があると思います。日本と中国との交流のいっそうの深化のためには、中国語と日本語に通じた人材の養成がますます重要になると思います。中国語の教育の質の向上、中国語学習者の裾野を広げる努力、日本と中国の相互の理解の深化という日中学院創設以来の目標が新しい意味を持つてくると思います。私たちも気持ちを新たに日本と中国との交流を発展させるための課題に取り組んでいこうと思います。

年頭にあたり皆様のご健勝をお祈りするとともに、皆様の日中学院への変わらぬご支援と、ご指導をお願いいたします。

2010年1月1日

日中学院長 小池敏明  
教職員一同

# 2010年の年頭にあたり

日中学院校友会会長 名和 巖郎

あけましておめでとうございます。日中学院教職員、学生、校友の皆様にとって2010年がよい年になりますように心からお祈り申し上げます。

2009年度、校友会は日本語科を卒業された2名の方を新たに理事に迎え、新企画として、合唱倶楽部を結成し、『林敏画文集』を刊行しました。

合唱倶楽部は指揮者八代理事の熱のこもった指導とご主人の伴奏により、5月～10月の土曜日に延べ20回練習を行い、文化祭で、「朋友」「YELL」「里の秋」の3曲を披露しました。

『林敏画文集』は江尻理事が推進役となり、倉石時代からの老同学林敏さんの画と文をまとめ、『林敏画文集』として刊行すると同時に、文化祭で原画の展示と画文集の販売を行いました。画文集の刊行については、呼びかけ人、多くの校友の方々から物心両面のご援助をいただきました。

つぎに2009年度校友会の定例的な活動について、簡単に報告します。

日本語科留学生との一日交流バスツアー：2009年9月26日、『「数馬の湯」と桧原村滝めぐりの旅』（日本語科学生16名校友会10名参加）を行いました。本年も日語科卒業生が参加されました。

文化祭：『ピースリーディング』（『願い』中国語・日本語による朗読）は、教職員、本科・別科学生、校友30名が参加。1階ロビーでは、例年どおり模擬店『おにぎり屋さん』を

出店、同時に写真展（2009年3月の四川雅安パンダ・上里古鎮および9月のバスツアーの桧原村滝&山野草の写真）を行いました。

講演会：前フェリス女学院大学教授石島紀之さんが『重慶爆撃を考える』を主題とした講演会を2010年1月30日に行います。

第15回中国旅行：今回は「福建客家土楼・アモイ・コロンス島・武夷山を訪ねる旅」を3月下旬（2009.3.23～3.29）、6泊7日の日程で行います。今回は、世界遺産でもある客家土楼や武夷山、古田会議が開催された上杭紅四軍政治部遺跡、アモイとかつての租界地コロンス島を訪ねます。

講演会、中国旅行の詳細は別紙のとおりです。多くの方々の参加をお待ちしております。

日中学院校友会は1986年に誕生しました。校友会は、会員相互の親睦交流を深めるとともに、日中学院を賛助し、日中友好の架け橋として、中国語及び中国文化等の研究・普及活動の発展に寄与することを目的とするもので、この会の趣旨に賛同し加入した現・旧教職員及び学生により組織運営されています。大学院生は本科別科を問わず、誰でも加入できます。多くの校友のみなさんの参加を歓迎いたします。

役員一同、今年も楽しく充実した活動をめざし頑張ります。校友のみなさんと日常的な交流の場をひとまわり拡げてみたいと考えています。みなさんのご支援をお願いいたします。

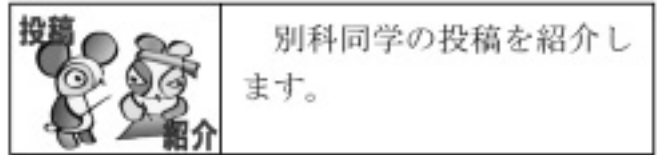
2010年元旦

## 酸 甜 苦 辣 五 七 五 (2)

早上四点起 想看猎户流星群 可惜没看见  
幽静的夜晚 收起垂钓的鱼线 和今天再见  
秋天去乡下 白天看宽广的天 夜晚看繁星  
秋夜特别长 今天我也看小说 月光照文字  
我一直爱你 我想要你在身边 在这里等你  
食欲的秋天 很多好吃的东西 最先吃什么  
忘了带盒饭 并且忘了带钱包 肚子咕咕叫  
我喜欢旅行 可是我没有时间 所以我没去  
我想去中国 中国菜非常好吃 我想说汉语  
没去过中国 我想去古都北京 很想吃烤鸭  
我去旅行了 大阪游乐园中玩 心里真高兴  
很喜欢旅行 去年去了北海道 今年去爬山  
我去冲绳了 冲绳海边真漂亮 我喜欢冲绳  
我想去京都 我的朋友也想去 我们爱京都  
我去中华街 吃了包子和饺子 真是有口福  
我是大学生 昨天我没去学校 今天也不去  
昨天打工了 今天天气特别好 我却还想睡

大学の第二外国語で中国語を約100時間習った方の作品だが、今の若者の初々しさと感性のするどさに感心し、正に「三人行必有我師」なり。

# 「友」



別科（昼）基礎課程中級班 篠 金太郎

「そうだ、中国語を学ぼう！」

それは、59歳を目前にした或る日、突如湧き上がった思いでした。

折よく10日後に迫っていた公開講座に参加、その翌日直ぐに入学致しました。

クラスが始まると、気分は小学一年生。毎回愉しく飛び跳ねるように通学。嬉々として受講。既に中国語の世界を手にしたかの様でした。

そんな浮ついた気分も次第に現実のものとなります。ピンインの発音につまづき、聴き取りの速さについていけず……。反応の鈍さは年のセイ？

そこに先生の一言、「音読100回ですよ」。即実行、口は回り始めます。「ホッと」したのも束の間、依然聴き取りに悩み、暗記が出来ず、文章が口をついて出て来ない。

こんな絶望の中から救い出してくれたのは、遠藤光暁著『中国語のエッセンス』でした。自分の努力不足を思い知らされます。

「テキスト音読1000時間」

これを目標に日々中国語のトレーニングに励んでいます。

思い返せば「中国語を学びたい」という思いの原点は、一人の中国人との出会いにあります。彼は20数年前来日、大学院で学んでいました。帰国後も家族ぐるみのお付き合いは続いています。そんな“つきあい”も彼の習得した日本語一辺倒でした。

心のゆとりが出来た今、私が友の言葉を学び、2つの言葉で友と向い合える日を夢んでいます。

## 安藤彦太郎先生お別れの会

日中学院名誉学院長 安藤彦太郎先生は、10月27日、阿佐ヶ谷の河北病院で膀胱癌のため逝去されました。享年92歳。

通夜および密葬は、10月27日、28日、杉並の今川宝珠殿でおこなわれました。

「安藤彦太郎先生お別れの会」は日中学院主催で 1月24日11時から日中友好会館大ホールでおこないます。

当日は平服でお越しください。なお、勝手ながら、ご香典ご供花の儀は、固くご辞退申し上げます。

## 1月のスケジュール

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| ・6日…仕事初め 開門        | ・12日…本科・日本語科・別科 授業開始 |
| ・8日…別科 公開講座（入門・基礎） | ・26日…本科・日本語科 合同弁論大会  |
| ・9日…別科 公開講座（入門）    | ・30日…校友会講演会／本科 公開講座  |